

もしものときの災害に備えて

消防団・消防署・婦人防火クラブ合同消防演習

3月3日(土)、日産学園青雲寮で防災意識を高め災害時の協力体制を確立するため、消防団・消防署・婦人防火クラブによる合同消防演習が行われました。会場では、本番と同じように、消防団員や消防署員による消火訓練や、避難訓練を実施。参加者は、防災について再確認をしました。

また、演習終了後は、婦人防火クラブによる炊き出しが参加者たちに提供され、寒空の中とても好評でした。



一斉放水訓練を行う消防団員と消防署員



検閲者(町長)に敬礼する消防団員



婦人防火クラブによる炊き出し



「みちくさ」による工作

日頃の成果を披露

公民館フェスティバル

3月4日(日)、中央公民館で「第21回公民館フェスティバル」が開催されました。

大ホールでは、町少年少女合唱団の合唱やまつぼっくりによる人形劇に、会場から大きな拍手が送られました。絵画や和紙人形など各サークルの作品展示も行われ、詰めかけた多くの人の目を楽しませていました。また、中央公民館玄関前では、青年団による焼きそば販売や「みちくさ」による手作りおもちゃの作成などが行われ大盛況でした。



まつぼっくりによる人形劇



ピエロの創作風船

よみがえれホタルの光 『ホタルの会』が磯川緑地公園ひげ沼を整備

2月15日から、磯川緑地公園内にホタルを復活させようと、環境保全団体『ホタルの会』会員が、磯川緑地公園ひげ沼を整備しました。

会員は、川に堆積した土を掘りあげ、また、ショウブやアヤメの植え替えなどを行い、ホタルの住める環境整備に、汗を流していました。3月14日には、ゲンジボタルの幼虫500匹と幼虫のエサであるカワニナを放流。ショウブやアヤメが開花する5月下旬には、ホタルの華麗な光が見られるかもしれません。



ひげ沼の整備を行うホタルの会会員



500匹のゲンジボタルの幼虫を放流

手作りうどんの味は最高！

坂上コミュニティで子どもの手料理開催

2月17日(土)、坂上コミュニティセンターで、地域子ども教室の一環として手打ちうどん作りが行われ、34人の子どもたちが参加しました。

手打ちうどんとけんちん汁作りを、子どもたちは粉まみれになったりしながらも一生懸命頑張りました。出来上がったけんちんうどんを食べる子どもたちからは、「すごくおいしいね。」という声が上がりました。



生地をのばす子どもたち



手際よく料理を行う参加者

バランスの良い食生活を

ヘルシー料理講習

2月23日(金)、保健センターでヘルシー料理教室が開催されました。

「食事バランスガイド」を基本とした、自分の健康を見直すことを目的に開催されました。食生活と健康に関するミニ講話や町の特産物を使用した調理実習を、町食生活改善推進協議会のヘルスマイトたちと一緒に学びました。

参加者は、「バランス良く栄養を摂取することが、とても重要ですね。」と熱心に実習をしていました。



太陽の下で食べるそばは格別です

福祉作業所で交流会

いきいきふれあい感謝祭

2月25日(日)、福祉作業所でいきいきふれあい感謝祭が開催されました。

開所以来お世話をしてくださった人たちなどの来場者と通所者が、交流を深めました。

上三川地区社協によるわた飴やそばなどの配布、坂上お囃子会によるお囃子の披露、個人作品展示、作業体験コーナーなどが設けられ、来場者は、福祉作業所の理解を一層深めていました。

かんぴょう業界のソムリエ

谷野方昭さんが地域特産物マイスターの認定

2月26日(月)、財団法人日本特産農産物協会より谷野方昭さん(下町1区)が、「地域特産物マイスター」の認定を受けました。

地域特産物マイスターは、地域特産物の栽培、加工などで卓越した技術の伝承と開発に意欲的である人などを認定登録する制度です。谷野さんは、かんぴょうを手軽に料理できる「味付けかんぴょう」を考案・開発し、「地域特産物マイスター」に認定されました。



「地域特産物マイスター」に認定された谷野方昭さん



参加者から笑い声が絶えなかった藤田弓子さんの講演

「いくつになっても旬」

文化講演会で藤田弓子さんが講演

3月11日(日)、中央公民館で文化講演会が開催されました。

講師に女優の藤田弓子さんを迎え、「いくつになっても旬」と題し、俳優仲間のエピソードやテレビ・舞台などに出演している際に学んだことを基に、健康に関する話をしてくださいました。

参加者からは、笑い声やうなづく場面が多く見られ、藤田さんの話を熱心に聞き入っていました。

卒業おめでとう

本郷小学校では地域住民と一緒に祝う卒業式

3月12日に中学校卒業式。3月16日には、小学校卒業式が町内の各学校で行われました。

中学生348名、小学生365名が学舎を巣立って行きました。

本郷小学校では、児童と地域住民の交流を密にしようとして、保護者以外の住民に参加していただく卒業式を行いました。

33名の卒業生が入場すると、大きな拍手で迎え卒業を祝いました。



地域の人たちに拍手で迎えられる卒業生